

資料 12-5

研究開発局宇宙開発利用課
革新的将来宇宙輸送システム実現
に向けたロードマップ検討会
(第12回) R3.12.24

**「革新的将来宇宙輸送システム実現に向けたロードマップ検討会」
第12回における議論の論点（研究開発を支える環境）**

文部科学省 研究開発局
宇宙開発利用課

- 「高頻度往還型」での実用機のスケールによっては、要素技術のレベルを上げる段階においても、法令事項等の整備や、地上系の整備が必要なものが生じるのではないかと。

（技術レベルと研究開発を進める上での課題）

	2026年頃	2030年頃	2035年頃	2040年頃
有 人	(技術レベル) (課題) ●法令事項 ●射場・スペースポート ●その他	(技術レベル) (課題)	(技術レベル) (課題)	(技術レベル) (課題)
無 人	(技術レベル) (課題) ●法令事項 ●射場・スペースポート ●その他	(技術レベル) (課題)	(技術レベル) (課題)	(技術レベル) (課題)